

okamoto



第120期

株主通信

2015.4.1 ▶ 2016.3.31

New Basic

身近な暮らしを科学する

オカモト株式会社

「株主のみなさまへ」 - ご挨拶 -

株主のみなさまには、平素よりひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第120期（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、前半は円安基調に加え、原油安によるコスト低減等で、堅調に推移しておりましたが、後半は円高が進行し、中国の景気減速等の海外情勢の動向がわが国の景気を下押しする要因となり不透明な状況となりました。

このような状況のなか、当社グループは、先行きが不透明な景気の波に左右されない企業として、既存事業についての生産効率のさらなる向上に努めるとともに、海外市場を中心として高い需要が続く自動車関連製品の営業力強化ならびに訪日観光客を含めた国内市場でのコンドーム製品のブランド力強化などに重点的に取り組んでまいりました。

その結果、当期の連結売上高は883億83百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は原価率の低減と為替の影響により82億37百万円（前年同期比80.6%増）、経常利益は昨年2月に資本業務提携した理研コングラム株式会社の株式追加取得により、新たに持分法適用会社となったことから「持分法による投資利益」が計上され、96億64百万円（前年同期比60.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は50億67百万円（前年同期比75.9%増）となり

ました。

期末配当金は1株当たり6円とし、年間配当金では1株当たり11円とさせていただきます。

今後も持続的な成長を果たすために、コア事業のさらなる拡大のため「身近な暮らしを科学する」を掲げ、人々の生活に役立つ様々な製品を幅広く供給し、広く社会から厚い信頼の得られる企業グループを目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

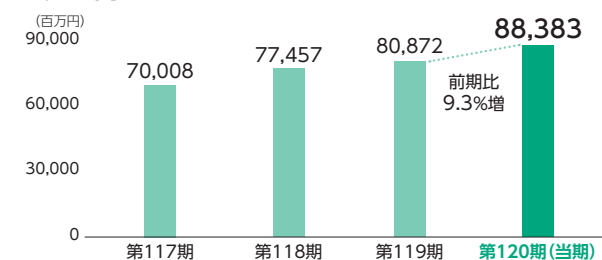


代表取締役社長 岡本良幸

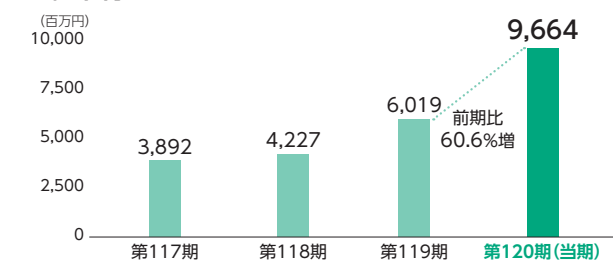
主要連結財務データ

	第117期 2013年3月期	第118期 2014年3月期	第119期 2015年3月期	第120期(当期) 2016年3月期
売上高	70,008 百万円	77,457 百万円	80,872 百万円	88,383 百万円
営業利益	2,920 百万円	3,255 百万円	4,561 百万円	8,237 百万円
経常利益	3,892 百万円	4,227 百万円	6,019 百万円	9,664 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,206 百万円	2,554 百万円	2,880 百万円	5,067 百万円
1株当たり当期純利益	21.29 円	25.28 円	29.07 円	51.52 円
総資産	72,871 百万円	78,261 百万円	83,385 百万円	86,284 百万円
純資産	41,815 百万円	44,006 百万円	47,007 百万円	49,208 百万円
1株当たり純資産	407.74 円	442.03 円	476.81 円	500.83 円
配当	7.50 円	8.75 円	10.00 円	11.00 円

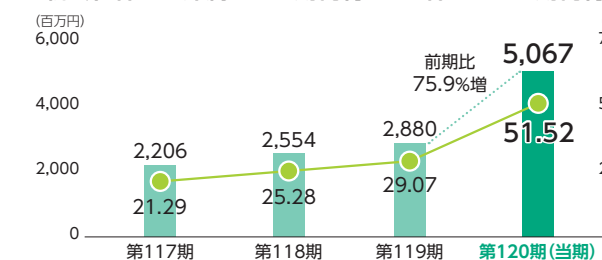
● 売上高



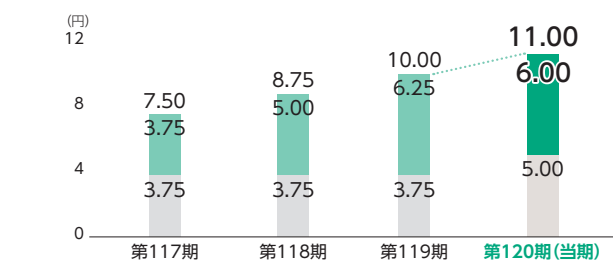
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



● 配当



会社概要 (2016年3月31日現在)

社名 オカモト株式会社
 設立 1934(昭和9)年1月10日
 資本金 13,047,630,757円
 (東証1部上場銘柄)
 従業員数 970名
 本社 〒113-8710
 東京都文京区本郷3丁目27番12号
 電話(03)3817-4111(代表)
 大阪支店 〒540-0022
 大阪府大阪市中央区糸屋町2丁目4番6号
 電話(06)4793-8500(代表)
 名古屋営業所 〒461-0025
 愛知県名古屋市東区徳川1丁目901番地
 電話(052)933-1171(代表)
 福岡営業所 〒815-0035
 福岡県福岡市南区向野1丁目13番9号
 電話(092)557-2600(代表)

役員 (2016年6月29日現在)

代表取締役会長	岡本 二郎	取締役	金氏 英樹
代表取締役社長	岡本 良幸	取締役	土屋 洋一
専務取締役	田村 俊夫	取締役	岡本 邦彦
専務取締役	竹内 誠二	取締役	田中 健嗣
常務取締役	矢口 昭史	社外取締役	相澤 光江
常務取締役	池田 佳司	取締役	増田富美雄
取締役	加藤 哲司	(監査等委員)	
取締役	高島 寛	社外取締役	深澤 佳己
取締役	本川 勉	社外取締役	
取締役	有坂 衛	(監査等委員)	荒井 瑞夫

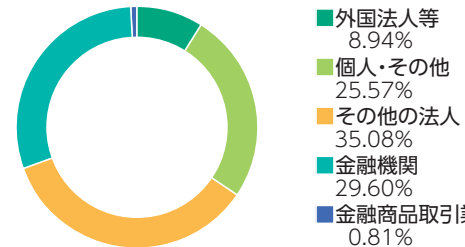
株式の状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数 400,000,000株
 発行済株式総数 104,996,839株
 株主数 7,487名
 大株主

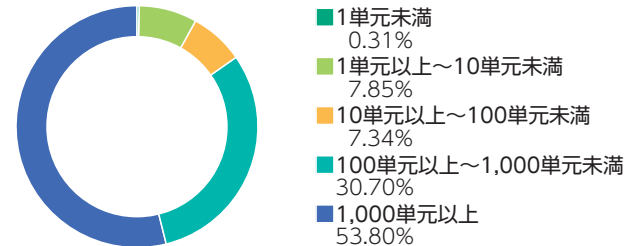
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	7,426	7.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	7,228	7.33
丸紅株式会社	7,211	7.32
株式会社みずほ銀行	4,896	4.97
有限会社八幡興産	3,530	3.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,348	3.40
みずほ信託銀行株式会社	2,944	2.99
やよい会	2,934	2.98
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,444	2.48
平井商事株式会社	1,886	1.91

(注) 1. 信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数
 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 7,228千株
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 3,348千株
 みずほ信託銀行株式会社 121千株
 2. 持株比率は自己株式を除いた発行済株式数に対する割合です。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



監査等委員会設置会社への移行について

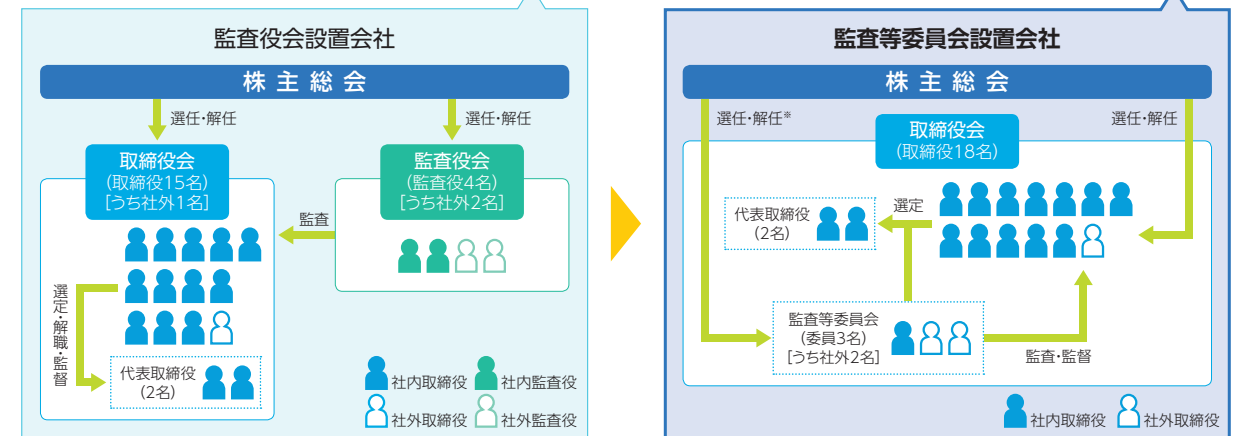
当社は、6月29日開催の株主総会および取締役会において決議されました通り、今年度より「監査役会設置会社」から「監査等委員会設置会社」に移行いたしました。

移行の理由

議決権のある監査等委員である取締役を置くことにより、取締役会の監査・監督機能を一層強化するとともに、コーポレート・ガバナンスのさらなる充実を図るものです。

● **監査役会設置会社と監査等委員会設置会社との比較**

	監査役会設置会社	監査等委員会設置会社
1 体制図	取締役会と監査役会が独立した機関	取締役会の中に監査等委員会を設置
2 監査役または監査等委員の構成	3名以上の監査役 (半数以上は社外監査役)	3名以上の監査等委員である取締役 (過半数は社外取締役)
3 取締役会での議決権	なし	あり
4 株主総会における、他の取締役の選解任・報酬等に関する意見陳述権	なし	あり
5 監査の方法	独任制(報告徴収・調査権限は各監査役にある)各監査役が自ら実査	内部統制システムを利用した組織的監査
6 任期	取締役：2年 監査役：4年	監査等委員以外の取締役の任期：1年 監査等委員である取締役の任期：2年



(注) ※監査等委員である取締役は、それ以外の取締役とは区別して、株主総会の決議により選任されます。

TOPICS

当社グループのさまざまな活動や取り組みをご紹介します。

11年ぶりのテレビCMを展開

創業から80周年の節目を経て、次のステージに向けた新たな取り組みの一環として、企業イメージのさらなる向上とブランド力強化を目的とした企業CMを制作。「実力派俳優」である遠藤憲一氏を起用し、オカモトが育んできた技術力とその発展に向けた「イノベーション」をアピールしました。

また、同時期に2015年4月2日に発売した「オカモトゼロワン」のCMも放映。「日本産」の0.01ミリ台コンドーム「オカモトゼロワン」を若者に人気のコメディアンチュートリアル徳井義実氏が独特軽快な雰囲気で見せ、さわやかなコンドームのテレビCMとなりました。オカモトのコンドームテレビCMは2004年以来11年ぶりの放映です。

SNS上でも「初めてコンドームのテレビCMを見た!」というようなコメントもあり、前回の放映からまた新たな世代に移り変わっている時代の中で、「オカモト」を再認知させる良いきっかけとなったと思います。



遠藤憲一氏出演の企業CM



LOVERS 研究所

『LOVERS研究所』を開設!

2015年12月15日、コンドームの着用率を高めるため「日本人にもっとコンドームを」という設立趣旨のもとウェブサイト「LOVERS研究所」を設立しました。所長にはチュートリアル徳井義実さんをお迎えし、インターネットを通じ世の中の話題となるコンテンツを発信し、当社の好感度アップを図っています。

LOVERS研究所は、「コンドームの着用率を上げるためにどうすればよいか?」という課題に対し、様々な仮説で解決策を提案する形式でコンテンツを展開し、そのクオリティや内容が大きな話題を呼びました。中でも「日本人の男子は草食化がすすんでいる?」という仮説のもと、公開した恐竜動画「オカモトゼロワンCM 恐竜編」(日本語版・英語版)は国内外を問わず注目を集め、わずか10日ほどで100万回の再生を超え、現在の再生回数は163万回を記録しています。(2016年5月17日時点)

これからもLOVERS研究所は様々な方法でコンドーム着用を訴え、話題を集めるコンテンツを発信して行きます。

オカモトの技術を支える生産拠点

製品のライフサイクルはますます短縮化しつつあるなかで、この変化の速度に対応し、お客様にご満足いただくため、快適・安心・豊かさを考慮しそれぞれの工場において特長ある生産技術と、最適の製造ラインを備えた生産拠点を整備して、厳正な品質管理のもとで製品を生産しております。



静岡工場 生活の“快適”を生産します。

広大な敷地に広がる静岡工場では、ビニルフィルム・建築材・産業資材など、一次製品を中心に製造を行っています。この工場で製造される製品は、多彩な商品に姿を変え、暮らしにしっかりと根づいて活躍しています。緑豊かな自然環境のなかで、時代が求める商品に最適な素材を研究開発している「ダイナミックな工場」として、市場の変化を的確にとらえた新素材、暮らしの快適に貢献する製品をお届けします。

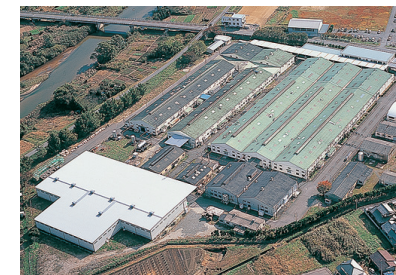
生産品目	ビニルフィルム、ビニルレザー、農業用フィルム、ビニル壁紙、車輻内装材など
所在地	〒421-0304 静岡県榛原郡吉田町神戸1番地
電話	0548-32-7121(代表)
F A X	0548-32-7589(総務人事)
敷地	約230,000m ²



茨城工場 生活の“安心”を生産します。

四季折々に姿を変える大自然に包まれた茨城工場は、コンドーム、家庭用手袋、粘着テープなど、生活のなかで直接役立つ製品の製造が中心です。特に、コンドームは独自に開発した生産ラインで製造を行っています。暮らしに身近な製品を、高度な技術で開発している当工場では、研究開発に適した環境のなかで、信頼性・扱いやすさ・安全性など基本性能を高めた、暮らしに安心の製品づくりをしています。

生産品目	コンドーム、粘着テープ(包装用、建材用、工業用)、手袋、カイロ、食品用脱水・吸水シート
所在地	〒301-0801 茨城県龍ヶ崎市板橋町西山1番地
電話	0297-62-1211(代表)
F A X	0297-60-1132(総務人事)
敷地	約162,000m ²



福島工場 生活の“豊かさ”を生産します。

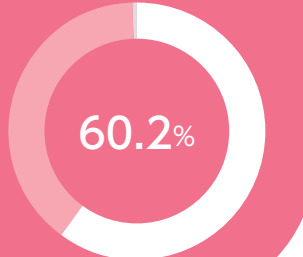
福島工場は、川や緑などの自然豊かな地域に設置されています。3工場のなかで規模は小さいながら、プレス製法、押出製法、インジェクション製法など、複数の製造方法でさまざまな製品が作られており、多様化するニーズをしっかりと受け止め、暮らしを豊かにするゴム・プラスチック製品づくりを行っています。

生産品目	ポリプロピレンシート、除湿剤、食品包装用ラップ、フレキシブルコンテナ、水枕、ゴムバンド、インジェクションブーツ
所在地	〒979-3131 福島県いわき市平赤井字日渡71番地
電話	0246-24-1192(代表)
F A X	0246-21-1841(総務人事)
敷地	約80,000m ²

産業用製品部門

産業用製品部門の中心は、原油由来の原材料からフィルムシートを製造し、他の事業者へ供給することにあります。そのため、為替相場や原油価格の大幅な変動による影響を強く受けやすい環境にあります。

そのような環境のなか、工場の生産性のさらなる向上に努め、また新規顧客の開拓などに注力した結果、第120期の業績は、54億円の増収(前期比11.3%増)となりました。



多層フィルム事業

多層フィルム事業では、レトルト食品等の包装容器用フィルム・輸液バッグ等の医療用フィルム・リチウムイオン電池の包装用フィルム等を製造しております。電池用が小型・大型向けに需要が拡大し売上増となりましたが、食品用が低調で売上減となりました。



フィルム事業

フィルム事業のうち、一般用・工業用フィルム事業では、手帳等の文具・工場の間仕切りや養生用・クリアフォルダ・看板広告等の広告宣伝物等に用いられるフィルムを製造しております。最近では海外からの注文にも対応しており、売上増となりました。

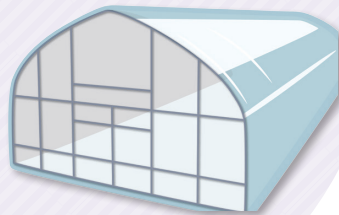
また、建材工業用フィルム事業では、市場の需要増によりユニットバス用・自動車用ともに好調で売上大幅増となりました。



農業用フィルム

農業用フィルムでは、ポリ塩化ビニルおよびポリオレフィンを原料として、農家のビニルハウス用フィルムを製造しております。また、2015年12月には農POフィルムの2号機を導入し、ポリオレフィンフィルムの拡充しております。

需要回復のため、営業活動に邁進いたしましたが、販売店在庫過多と農作物生産者の節約志向の影響で売上減となりました。



壁紙事業

壁紙事業では、静岡工場デザインセンターでのデザイン開発力および技術力を通じ、顧客ニーズに応えながらさまざまなデザインや機能をもった壁紙を製造しております。

当期は、住宅着工件数が前年並みとなり売上横這いとなりました。



粘着テープ・工業用テープ事業

粘着テープ事業では、ホームセンターなどで購入できる粘着テープ・物流業者向け梱包用テープだけでなく、住宅建材用テープ・家電メーカー向け搬送用テープ・自動車塗装用マスキングテープ等を製造しております。

また、工業用テープ事業では、精密機械メーカー向け両面テープ・スマートフォン部材用テープ等を製造しております。

粘着テープ事業は売上増となる一方、工業用テープ事業は売上減となりました。



フレキシブルコンテナ事業

フレキシブルコンテナ事業では、原油由来の樹脂や飼料などを保管・運搬するためのバッグを福島工場での一貫生産で製造しております。フレキシブルコンテナ事業は需要減により、売上減となりました。



自動車内装材事業

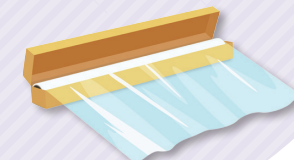
自動車内装材事業では、自動車のダッシュボード・座席・ドア等に使用される内装表皮のほか、二輪車座席用・家具用のプラスチックレザーを製造しております。日本の各自動車メーカーのグローバルでの生産台数の復調により、売上大幅増となりました。



食品衛生関連商品事業・食品用脱水・吸水シート事業

食品衛生関連商品事業では、食品関連事業者向けに食品用ラップフィルムおよび手袋を、また一般家庭向けに食品用ラップフィルムを製造・販売しております。当期は価格競争が激化するなかで、業務用ラップの新商品投入により売上横這いとなりました。

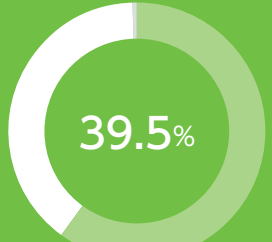
また、食品用脱水・吸水シート事業では、肉や魚の鮮度を保つ「ピットシート」等を製造・販売しており、産地加工向け需要の増加により売上増となりました。



生活用品部門

生活用品部門は、コンドーム・除湿剤・カイロ・家庭用手袋など消費者の皆さまに直接お使いいただく製品が中心ですが、業務用手袋・滅菌器など事業者向けの製品もごございます。

消費者の需要減少により手袋・滅菌器等が落ち込みとなりましたが、コンドームがブランド強化やインバウンド需要を取り込み、また海外市場においては積極的に営業展開を行った結果、第120期の業績は21億円の増収(前期比6.2%増)となりました。



除湿剤事業

除湿剤事業では、福島工場にて一貫生産し、“水とりぞうさん[®]”のブランドで製造・販売しております。

当期は、シートタイプでクローゼットなど大型収納にもぴったりな、『大判タイプ』『水とりぞうさん[®]クローゼット用大判タイプ』を発売し、ご好評をいただいております。ブランド力のさらなる強化と、商品ラインナップ強化により、除湿剤売場のトータル提案が可能となり、NB商品および小売店のPB商品ともに堅調で売上増となりました。



コンドーム事業

コンドーム事業では、茨城工場およびタイ工場の2拠点体制で、天然ゴムラテックス製および水性ポリウレタン製のコンドームを製造・販売し、また、関連商品として女性用ビデも製造・販売しております。

4月に発売しましたオカモト史上最薄コンドーム“オカモトゼロワン”を中心とする薄物商品の売上が、日本国内のインバウンド需要と相まって大きく伸びました。

また中国を含むアジア市場を中心に海外にも積極的に展開しております。



カイロ事業

カイロ事業では、『貼るカイロ』『貼らないカイロ』を茨城工場にて製造し、“快温くん[®]”“温楽[®]”のブランドで販売しております。

当期は、“快温くん[®]”にさまざまな機能を追加したシリーズ“快温くんプラス”を新たに展開いたしました。

ご愛用いただいているみなさまから寄せられたご意見にお応えした製品“貼る快温くんプラス温度2段階”です。

当期は、残念ながら暖冬の影響を受け、需要が低迷し売上減となりました。



手袋事業

手袋事業では、茨城工場およびタイ工場において家庭用・炊事用手袋・作業用手袋のほか、精密機器メーカーのクリーンルーム用手袋等を製造・販売しております。

クリーンルーム用は、計画通りに推移しましたが、炊事用は価格見直しの影響で売上減となりました。



メディカル事業

メディカル事業では、国内子会社が製造する医療機関向け滅菌器のほか、医療従事者および介護従事者向けの手袋を販売しております。

滅菌器販売台数は、微減となりましたが、使い捨て手袋の数量が増加し、売上微増となりました。



ブーツ・雨衣事業

ブーツ・雨衣事業では国内とベトナムの工場にてホームセンターを中心に長靴・雨衣・安全スニーカーを製造・販売しております。

また「Wrangler」「LOTTO WORKS」といった有名ブランドの安全スニーカー

をライセンス販売しております。長靴・雨衣については、天候の影響で暖冬のため、防寒商品で苦戦となりましたが、新規OEM品や他の製品受注を行い前期並みの売上となりました。



その他事業

群馬工場跡地(群馬県太田市内)の合計57,000㎡の敷地にソーラーパネルを設置し、最大出力として合計約4,000kWhをもって太陽光発電事業を行っております。

再生可能エネルギーの安定供給に努め、今後も社会に貢献してまいります。

よりよい社会を実現するためにさまざまなCSR活動に取り組んでいます。

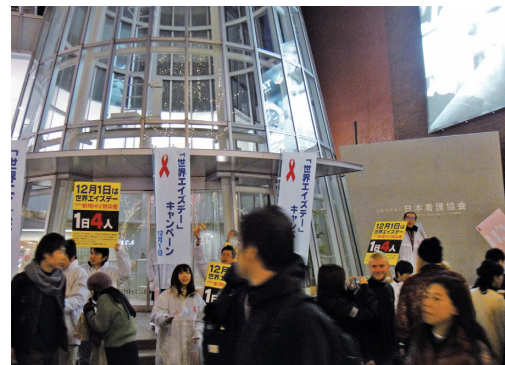
世界エイズデーにベネトンジャパン・エイズ予防財団とともに啓発活動!

12月1日の世界エイズデーに合わせた啓発イベントとして、ベネトンジャパン株式会社と公益財団法人エイズ予防財団と共催で「バブルサッカー」イベントと表参道街頭サンプリングを行いました。

「バブルサッカー」イベントは、2015年11月28日に東京タワーメディアセンターで開催。このイベントでは若者への拡散を図るため、10代から20代に人気のあるスポーツ「バブルサッカー」を通じて参加型の新しい啓発活動にチャレンジいたしました。参加者にも非常に好評で今後も継続して行きたいイベントとして考えています。

また表参道街頭サンプリングは2015年12月5日に表参道・日本看護協会ビル前で実施。この啓発サンプリングでは共催の3社だけでなく、厚生労働省健康局長やエイズ対策室の方々にもご参加いただき、官民一体となったエイズ予防啓発サンプリング活動を行いました。

今後もエイズをはじめとする性感染症や望まない妊娠といった課題に対して、自身と相手を守る「セーフセックス」の理解を深め、エイズ問題を風化させないためのイベントやWEBサイトなどを通じて情報発信を行ってまいります。



2015年11月28日に開催されたバブルサッカー

2015年12月5日の表参道街頭サンプリング

チャリティチョコレート販売会

2016年3月2日にCSR活動の一環として、チャリティチョコレート販売会を本社社員食堂にて実施しました。チョコレートはNPO法人『難民を助ける会』が企画したもので、売上の一部が同法人の国内外支援活動資金として寄付されます。

昨年もチョコレート販売会を実施しましたが、今年はNPO法人「難民を助ける会」の駐在員によるアフリカ南部ザンビアでのエイズ遺児就学支援活動報告会も合わせて企画し、チョコレートを100箱用意しましたが、あっという間に完売。追加注文も合わせて、計129箱(25,800円分が寄付)購入されました。



チャリティチョコレート販売会の様子

献血によるボランティア活動



本社前に駐車した献血車

当社ではCSR(企業の社会的貢献)活動の一環として、年に2回、日本赤十字社の献血に協力しています。

本社ビルに日本赤十字社の方に来ていただき、2015年も約100の方々に献血に申し込んでいただきました。社内だけではなく近隣企業の従業員の方、また近所にお住まいの方など多くのみなさまにもご協力いただいております。

今後も当社は献血によるボランティア活動を通じて、社会に貢献していきたいと考えております。

イチジク製薬株式会社

1925年、田村廿三郎医師がイチジク印軽便浣腸を開発したことにはじまり、以後、90年にわたり「イチジク」ブランドで浣腸を製造・販売してきた家庭薬メーカーです。

便秘は、男女年齢問わず、とても身近な問題であり、時には深刻な症状にも発展するおそれのあるものです。浣腸は、飲まない便秘の薬として、0歳児用から成人用まで、高品質で豊富なラインナップの商品を取り揃えております。

現在、スカイツリーから徒歩数分の場所に本社工場を構えております。当社グループ唯一の製薬会社として、今後も浣腸一筋で精進してまいります。



▼イチジク浣腸 30
「青色」と「白十字」のデザインをシンボルとして35年以上にもわたり販売しているロングセラー商品です。



船堀ゴム株式会社



▲指ドーム/指サックにシリコンオイルを塗布してありますので色々なシーンでご使用できます。

1959年、東京都江戸川区船堀の地で創業し、以来、コンドームと同じ天然ゴムラテックスを主たる原料とした「工業用指サック」を製造・販売するメーカーです。

「薄くて・丈夫で・柔らかくて使いやすい」というゴムの特性を生かした製品のため、電化製品・電子機器・精密機械部品などの製造現場で使用されています。

さらに、硫黄・亜鉛の混入を嫌う顧客向けの製品や、帯電防止製品等の特殊な製品も取り扱っているほか、2013年には当社グループとなったシナジー効果を生かし、業務用コンドームの販売も開始しております。



オカモト化成株式会社

主に当社の汎用プラスチック・フィルム製品の販売窓口として設立され、現在ではフィルムの原反のみならず、農業用フィルム、粘着テープ、食品用ラップ、手袋、長靴、雨衣なども販売する会社です。

当社の各事業部と共同しながら、当社とは異なる視点で、独自に営業活動を展開しており、きめ細かいサービスを提供しております。また、独自に加工・施工のネットワークを構築し、これらを駆使して顧客のさまざまなニーズに応えています(右写真は中部事業所にてフィルムを加工している模様です)。こうした幅広い活動を通じて、当社の販路開拓・事業拡大に貢献しています。

ヒルソン・デック株式会社

1980年の創業以来、第二種医療機器製造販売業としての許可を取得し、医療機関が器具を滅菌する際に使用する滅菌器を製造してきた専門メーカーで、2000年に当社の子会社となりました。

病院・診療所・歯科医院などのお客様の用途に応じて、フロア設置型から卓上型まで豊富なラインナップを取り揃え、当社を通じて販売しております。

滅菌器の製造を通じて、医療の現場に密接に関わり、医療業界全体の発展のため貢献してまいります。



世界長ユニオン株式会社

1919年創業の「大阪ゴム底足袋株式会社」(1964年、世界長株式会社に商号変更)と、1952年創業の「ユニオン製靴株式会社」(1990年、株式会社ユニオン・ロイヤルに商号変更)に、当社シューズ事業部が統合した会社です。革靴・スニーカー・スポーツ靴を製造・販売しており、オリジナルブランドやライセンスブランドを展開しております。

現在も日本国内において天然皮革の製靴工場を運営しており、同工場に勤務する職人たちを中心として、長年にわたり培った技術を発揮し、「世界に誇る靴づくり」をマーケットに発信して行きます。

●オリジナルブランド商品●

Union Imperial (ユニオン インペリアル)

本場イタリアでの製法を日本で最初に取り入れ、日本人の足型に合わせて再構築(“ハンドソーン・ウェルテッド製法”)。昔ながらの手作業により一足一足を美しい輝きとシルエットに、丁寧に仕上げ提供しています。



TOPAZ(トパーズ)

靴医学の権威・井口傑医学博士監修による、『軽くて・歩きやすく・疲れにくい』をテーマに開発した女性向けコンフォートシューズの先駆的存在。1986年の発売開始から累計1,500万足の販売を達成したロングセラー商品です。



●ライセンスブランド商品●

FILA(フィラ)

ヨーロッパを代表するブランド「FILA」。2006年にライセンスを取得し、幅広い年齢層を対象としたスニーカー・ウォーキングシューズ・テニス・ゴルフなどのスポーツシューズを製造・販売しております。
<http://www.fila.jp/shoes/lifestyle.html>

NEWYORKER(ニューヨーカー)

ベーシックでありながらも、時代の空気やトレンドのエッセンスをプラスしたスタイル提案を行っているブランド「NEWYORKER」。50年の歴史を刻む同ブランドについて、2015年新たにライセンスを取得し、製造・販売を行っております。
<http://www.newyorkerfootwear.com/>



Dr.ASSY(ドクター・アッシー)

「甲高・幅広」が多い日本人にとっての履きやすい靴作りを徹底的に研究・開発した商品。つま先の形状に沿った木型を採用しており(オブリーク・トゥ)、この木型のおかげで靴の中では指先でしっかりと大地を感じることができます。イメージモデルの渡辺正行氏とともに、「働くニッポンを、足下から応援したい!」というメッセージを発信しております。

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告(http://www.okamoto-inc.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

証券会社に口座をお持ちの場合

郵便物送付先	
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。
お取扱店	
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、下記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

特別口座の場合

郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。



New Basic
身近な暮らしを科学する
オカモト株式会社

〒113-8710 東京都文京区本郷3丁目27番12号
(03)3817-4111(代表)

<http://www.okamoto-inc.jp/>

